

琉球水道公社

1962會計年度

年報

琉球列島米國民政府



IA②
SK0053(2)
=企業局=

自1961年7月1日—至1962年6月30日

理事長、理事兼総裁：ウィリアム・A・ケーリー（民政府）
副総裁兼理事：フランク・江木（民政府）
理事：オマー・E・ローラー（米陸軍エンジニア）
“ ”：志村 喬（琉球政府）
“ ”：金城 清輝（琉球開発金融公社）

目 次

	頁
序 言	1
公認会計士の意見	3
✓比較貸借対照表	4
✓比較損益計算書	5
1962会計年度の主要事項	7
財 政	7
運 営	7
工事の竣工	10
工事計画	10
琉球水道公社機構図	11
図 表	
1、統合水道施設図（主要施設）	2
2、1962 会計年度給水概要	9
別 表	
1、1962 会計年度 の水の売上高	8
✓ 2、琉球水道公社投資額（1959～1962会計年度）	12
1960及び1961会計年度年報索引	13

序 言

琉球水道公社（公社）は、琉球住民の使用と利益及び琉球における産業の発展をはかるために水を供給する目的で1958年9月4日付高等弁務官布令第8号によつて琉球列島米国民政府の一機関として設立されたものであります。

この年次報告期間に、那覇、コザ、北谷、宜野湾、読谷、美里及び具志川の市町村は全島統合給水施設に連結され、浦添、嘉手納及び北中城の諸村も近い将来全島統合給水施設に連結されることが期待されています。

1962年1月に、公社では米国マサチューセッツ州ボストンのメチカフ・エディー・エンジニア会社と契約し、沖縄における潜在水源調査を行い全島統合給水計画のマスター・プランを設定した。

1962年5月に完了したこの調査によれば、西歴2000年迄の水の需要を満たすために施設の改善、拡張に要する費用は、十年毎に約1,100万ドルが見積られていおります。

尚、この調査によれば沖縄北部には大きな潜在水源としての多数の水流があることがわかり、それらの流量を決定するためにいくつかの水流に水量測定所を設置する計画がすゝめられております。

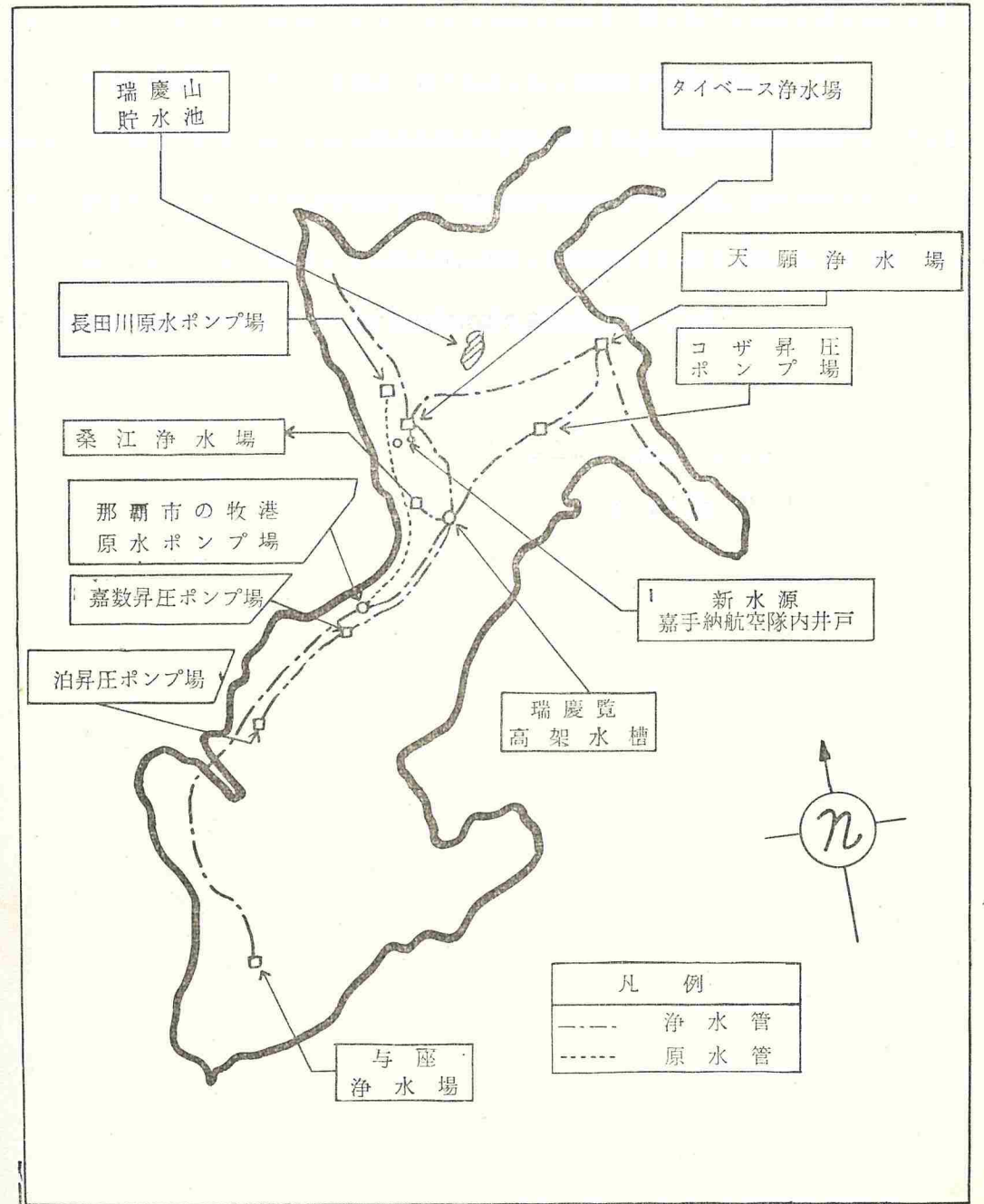
当面の水の需要量を満たすために、公社では、向う6カ年に一日1,600万ガロンの増加水量を得る計画もすゝめております。これは、マスター・プランの第1段階で、水源及び給水施設改善に約1,900万ドルがみつもられております。

西歴2000年までには、沖縄中部の需要をみたすため、一日4,000万ガロンの浄水を必要とすることが予想されています。

琉 球 水 道 公 社 総 裁

ウィリアム・A・ケーリー

図表 1
 琉球水道公社
 統合水道施設図(主要施設)





公認会計士の意見書

琉球水道公社
理事会 殿

我々は、琉球水道公社の1962年6月30日現在の貸借対照表及び同日終了の会計年度における損益及び剰余金計算書を検査した。我々の検査は一般に認められた検査監督基準に準拠して行われ、従つて、当該事情の下において必要とみなされた諸会計記録の試査及びその他の諸監査手続を含むものである。

我々の意見によれば、添付の貸借対照表及び損益並びに剰余金計算書は、前年度のそれと同一の基準において適用された一般に認められた会計原則に準拠して1962年6月30日現在における琉球水道公社の財政状態及び同日終了の会計年度における経営成績を適正に表示している。

アーサー・J・デリンジャ・アソシエーツ
公認会計士

琉球水道公社
比較貸借対照表

表-A

1961年6月30日現在及1961年6月30日現在

	1962年6月30日	1961年6月30日
資産の部		
流動資産		
現金及預金(註-1)	\$ 750,218.55	\$ 936,294.74
未収金(註-2)	52,295.97	36,487.25
未収利息	18,353.43	3,822.48
流動資産合計	820,867.95	976,604.47
固定資産		
機械設備(取得原価)	\$ 904,311.41	\$ 443,758.68
減価償却引当金	22,025.39	4,157.63
車 輛	7,145.00	5,645.00
減価償却引当金	2,848.05	1,419.05
什器備品	3,232.75	2,064.75
減価償却引当金	628.26	282.10
固定資産合計	889,187.46	445,609.65
その他の資産		
保証金	200.00	250.00
借地料前渡金	1,010.86	-0-
工事費前渡金(註-3)	27,102.31	127,861.31
建設仮勘定(註-4)	1,476,237.33	1,203,134.00
その他の資産合計	1,504,550.50	1,331,245.31
資産合計	\$ 3,214,605.91	\$ 2,753,459.43
負債及び資本の部		
負債		
流動負債		
未払金	\$ 51,362.44	\$ 39,448.98
年次休暇積立金	886.36	-0-
流動負債合計	52,251.80	39,448.98
その他の負債		
水道料保証金	35,459.00	20,885.58
負債合計	87,710.80	60,334.56
資本金		
米合衆国政府からの資金(註-5)	2,686,297.52	2,472,049.00
剰余金(表-B)	440,597.59	221,075.87
資本金合計	3,126,895.11	2,693,124.87
負債及び資本金合計	\$ 3,214,605.91	\$ 2,753,459.43

財務諸表に対する註釈を参照のこと。

琉球水道公社
比較損益及び剰余金計算書

表-B

1961及び1962会計年度

1962年6月30日現在

1961年6月30日現在

才 入		
水の売上高	\$ 481,935.41	\$ 340,172.90
修理及びサービスによる収入	4,670.00	5,775.63
才入合計	486,605.41	345,948.53
原 価		
水	263,090.28	204,622.61
修理及びサービス	4,294.53	5,250.38
原価合計	267,384.81	209,872.99
売上総益	219,220.60	136,075.54
才 出		
一般管理費		
給料及び賃金	13,283.85	11,758.84
会計監査料	700.00	700.00
広告	161.76	196.71
保険	523.18	460.77
事務用消耗品	1,108.23	811.41
郵便切手	611.56	530.53
出版	200.00	215.00
事務所品修理維持費	41.21	42.20
車 輛 " "	690.45	584.76
家 賃	1,225.00	1,200.00
電 話	295.39	147.25
光 熱 費	196.70	207.80
年次有給休暇	889.36	
雑 費	2.22	54.30
一般管理費合計	19,928.91	16,909.57
現場維持費	624.67	378.83
借地料	616.96	1,138.03
取立不能	673.57	
減価償却費	19,642.92	4,412.23
経費合計	41,487.03	22,838.66
営業純益	177,733.57	113,236.88
その他の収益		
直結、閉栓、検査の手数料	2,594.00	709.00
預金利息	36,863.29	6,531.59
延滞水道料に対する利息	2,330.86	2,752.91
その他の収益合計	41,788.15	9,993.50
当期純益	219,521.72	123,230.38
前期修正		127.51
期首利益剰余金	221,075.87	97,717.98
期末利益剰余金	\$ 440,597.59	\$ 221,075.87

財務諸表に対する註釈を参照のこと。

琉球水道公社
 青島市立水務局
 1962年6月30日現在

100,000.00	100,000.00
200,000.00	200,000.00
300,000.00	300,000.00
400,000.00	400,000.00
500,000.00	500,000.00
600,000.00	600,000.00
700,000.00	700,000.00
800,000.00	800,000.00
900,000.00	900,000.00
1,000,000.00	1,000,000.00
1,100,000.00	1,100,000.00
1,200,000.00	1,200,000.00
1,300,000.00	1,300,000.00
1,400,000.00	1,400,000.00
1,500,000.00	1,500,000.00
1,600,000.00	1,600,000.00
1,700,000.00	1,700,000.00
1,800,000.00	1,800,000.00
1,900,000.00	1,900,000.00
2,000,000.00	2,000,000.00
2,100,000.00	2,100,000.00
2,200,000.00	2,200,000.00
2,300,000.00	2,300,000.00
2,400,000.00	2,400,000.00
2,500,000.00	2,500,000.00
2,600,000.00	2,600,000.00
2,700,000.00	2,700,000.00
2,800,000.00	2,800,000.00
2,900,000.00	2,900,000.00
3,000,000.00	3,000,000.00
3,100,000.00	3,100,000.00
3,200,000.00	3,200,000.00
3,300,000.00	3,300,000.00
3,400,000.00	3,400,000.00
3,500,000.00	3,500,000.00
3,600,000.00	3,600,000.00
3,700,000.00	3,700,000.00
3,800,000.00	3,800,000.00
3,900,000.00	3,900,000.00
4,000,000.00	4,000,000.00
4,100,000.00	4,100,000.00
4,200,000.00	4,200,000.00
4,300,000.00	4,300,000.00
4,400,000.00	4,400,000.00
4,500,000.00	4,500,000.00
4,600,000.00	4,600,000.00
4,700,000.00	4,700,000.00
4,800,000.00	4,800,000.00
4,900,000.00	4,900,000.00
5,000,000.00	5,000,000.00

琉球水道公社

1962年6月30日現在財務諸表に対する註釋

- 1962年6月30日現在の現金及び預金額は \$ 750,218.55 でその内訳は、一般資金 \$ 445,200.86 と建設資金 \$ 305,017.69 である。これらの資金のうち、\$ 444,700.00 と \$ 290,000.00 がそれぞれ定期預金となつている。
- 未収金は、\$ 52,295.97 で、その内訳は、\$ 54,914.05 の未収金に対し、\$ 2,618.08 が前払金となつており、その差額が正味の未収金となつている。1962年7月1日から8月31日までに上記未収金のうち \$ 54,125.18 が回収従つて1962年8月31日現在で、1962年6月30日以前に収金すべき金額の残高は、\$ 788.87 となつている。
- 工事費前渡金 \$ 27,102.31 は、建設進捗中のものに対する資金として米陸軍エンジニアに前渡した資金である。
- 建設仮勘定 \$ 1,476,237.33 の内訳は、次の通りである。

統合給水施設	\$ 1,444,594.00
統合給水施設の調査及びマスター・プラン費用	25,900.00
牧港水道管	<u>5,743.33</u>
計	<u>\$ 1,476,237.33</u>
1961年7月1日現在の資本金	
資本投入	\$ 2,472,049.00
高等弁務官一般資金	8,800.00
駐留米陸軍 (ARI) の原水施設	<u>205,448.52</u>
1962年6月30日現在の資本金	<u>\$ 2,686,297.52</u>

1962会計年度の主要事項

1. 財 政

a. 1962年6月30日で終る会計年度中に、公社は、浄水、原水売上高及び米陸軍による量水器取付、給水管の連結修理作業に対する公社手数料として、\$ 486,606.00の収益を得た。公社は、2,318,053,000ガロンの水を販売したが、そのうち1,817,246,000ガロンは浄水で500,807,000ガロンは原水であつた。

市町村は、1,065,380,000ガロンの浄水と500,807,000ガロンの原水を購入した。営業用として、222,698,000ガロン、家事用として、529,168,000ガロンの水がそれぞれ消費された。

b. 公社のその他の収入合計は、\$ 41,788.00でその内訳は、

(1) \$ 2,594.00が公社所有分水口の使用料及び給水装置の検査及び修理手数料で

(2) \$ 36,863.00が銀行預金利息で、

(3) \$ 2,331.00が水道料に対する延滞利息である。

c. 1962会計年度の公社の営業収入及びその他の収入合計は、\$ 528,394.00である。

d. 公社の支出総額は、\$ 308,872.00で、その内訳は、

(1) \$ 249,744.00が、米陸軍が公社に供給した浄水の購入原価で、

(2) \$ 13,346.00が、米陸軍が公社に供給した原水の購入原価で、

(3) \$ 4,295.00が米陸軍の実施した量水器取付、水道管の修理連結費で、

(4) \$ 21,844.00が公社の管理運営費で、

(5) \$ 19,643.00が公社財産の減価償却費である。

e. 1962会計年度の純益は、\$ 219,552.00である。

2. 運 営

下に示す通り、市町村及びその他の使用者による水の需要の実質的増加と使用者の急速な増加が、この報告期間中にみられた。1962会計年度中に使用者は、前年に比べて49.1%増加し、その内訳は家事使用者が49.2%、営業用使用者が47.9%となつている。使用者数1,139件は、1961会計年度の1,130件に比べていくぶん増加している。

別 表 1

1962会計年度の水の売上高

(1) 浄水及び原水売上高内訳 (単位1,000ガロン)

	1961会計年度	1962会計年度	増 加 率
浄 水	1,237,989	1,817,246	46.8%
原 水 (那覇)	398,408	500,807	25.7%
計	1,636,397	2,318,053	41.7%

(2) 使用者別給水量 (単位1,000ガロン)

	1961会計年度	1962会計年度	増 加 率
市 町 村 [註]	1,153,776	1,566,187	35.7%
営 業 用	158,828	222,698	40.2%
家 事 用	323,793	529,168	63.4%
計	1,636,397	2,318,053	41.7%

(3) 市町村別給水量 (単位1,000ガロン)

	1961会計年度	1962会計年度	増 加 率
那 覇 [註]	884,028	1,040,471	17.7%
コ ザ	194,154	319,877	64.8%
北 谷	15,168	23,631	55.8%
宜 野 湾	55,436	138,560	149.9%
読 谷	3,583	11,248	213.9%
美 里	1,407	15,483	1,000.4%
具 志 川	—0—	16,917	—
計	1,153,776	1,566,187	35.7%

[註] (1) に示す通り那覇市の場合は原水も含む

(1) 昭和36年度(1961年度)の決算状況

(2) 昭和37年度(1962年度)の決算状況

(3) 昭和38年度(1963年度)の決算状況

(4) 昭和39年度(1964年度)の決算状況

(5) 昭和40年度(1965年度)の決算状況

(6) 昭和41年度(1966年度)の決算状況

(7) 昭和42年度(1967年度)の決算状況

(8) 昭和43年度(1968年度)の決算状況

(9) 昭和44年度(1969年度)の決算状況

(10) 昭和45年度(1970年度)の決算状況

(11) 昭和46年度(1971年度)の決算状況

(12) 昭和47年度(1972年度)の決算状況

(13) 昭和48年度(1973年度)の決算状況

(14) 昭和49年度(1974年度)の決算状況

(15) 昭和50年度(1975年度)の決算状況

(16) 昭和51年度(1976年度)の決算状況

(17) 昭和52年度(1977年度)の決算状況

(18) 昭和53年度(1978年度)の決算状況

(19) 昭和54年度(1979年度)の決算状況

(20) 昭和55年度(1980年度)の決算状況

(21) 昭和56年度(1981年度)の決算状況

(22) 昭和57年度(1982年度)の決算状況

(23) 昭和58年度(1983年度)の決算状況

(24) 昭和59年度(1984年度)の決算状況

(25) 昭和60年度(1985年度)の決算状況

(26) 昭和61年度(1986年度)の決算状況

(27) 昭和62年度(1987年度)の決算状況

(28) 昭和63年度(1988年度)の決算状況

(29) 昭和64年度(1989年度)の決算状況

(30) 昭和65年度(1990年度)の決算状況

(31) 昭和66年度(1991年度)の決算状況

(32) 昭和67年度(1992年度)の決算状況

(33) 昭和68年度(1993年度)の決算状況

(34) 昭和69年度(1994年度)の決算状況

(35) 昭和70年度(1995年度)の決算状況

(36) 昭和71年度(1996年度)の決算状況

(37) 昭和72年度(1997年度)の決算状況

(38) 昭和73年度(1998年度)の決算状況

(39) 昭和74年度(1999年度)の決算状況

(40) 昭和75年度(2000年度)の決算状況

(41) 昭和76年度(2001年度)の決算状況

(42) 昭和77年度(2002年度)の決算状況

(43) 昭和78年度(2003年度)の決算状況

(44) 昭和79年度(2004年度)の決算状況

(45) 昭和80年度(2005年度)の決算状況

(46) 昭和81年度(2006年度)の決算状況

(47) 昭和82年度(2007年度)の決算状況

(48) 昭和83年度(2008年度)の決算状況

(49) 昭和84年度(2009年度)の決算状況

(50) 昭和85年度(2010年度)の決算状況

(51) 昭和86年度(2011年度)の決算状況

(52) 昭和87年度(2012年度)の決算状況

(53) 昭和88年度(2013年度)の決算状況

(54) 昭和89年度(2014年度)の決算状況

(55) 昭和90年度(2015年度)の決算状況

(56) 昭和91年度(2016年度)の決算状況

(57) 昭和92年度(2017年度)の決算状況

(58) 昭和93年度(2018年度)の決算状況

(59) 昭和94年度(2019年度)の決算状況

(60) 昭和95年度(2020年度)の決算状況

(61) 昭和96年度(2021年度)の決算状況

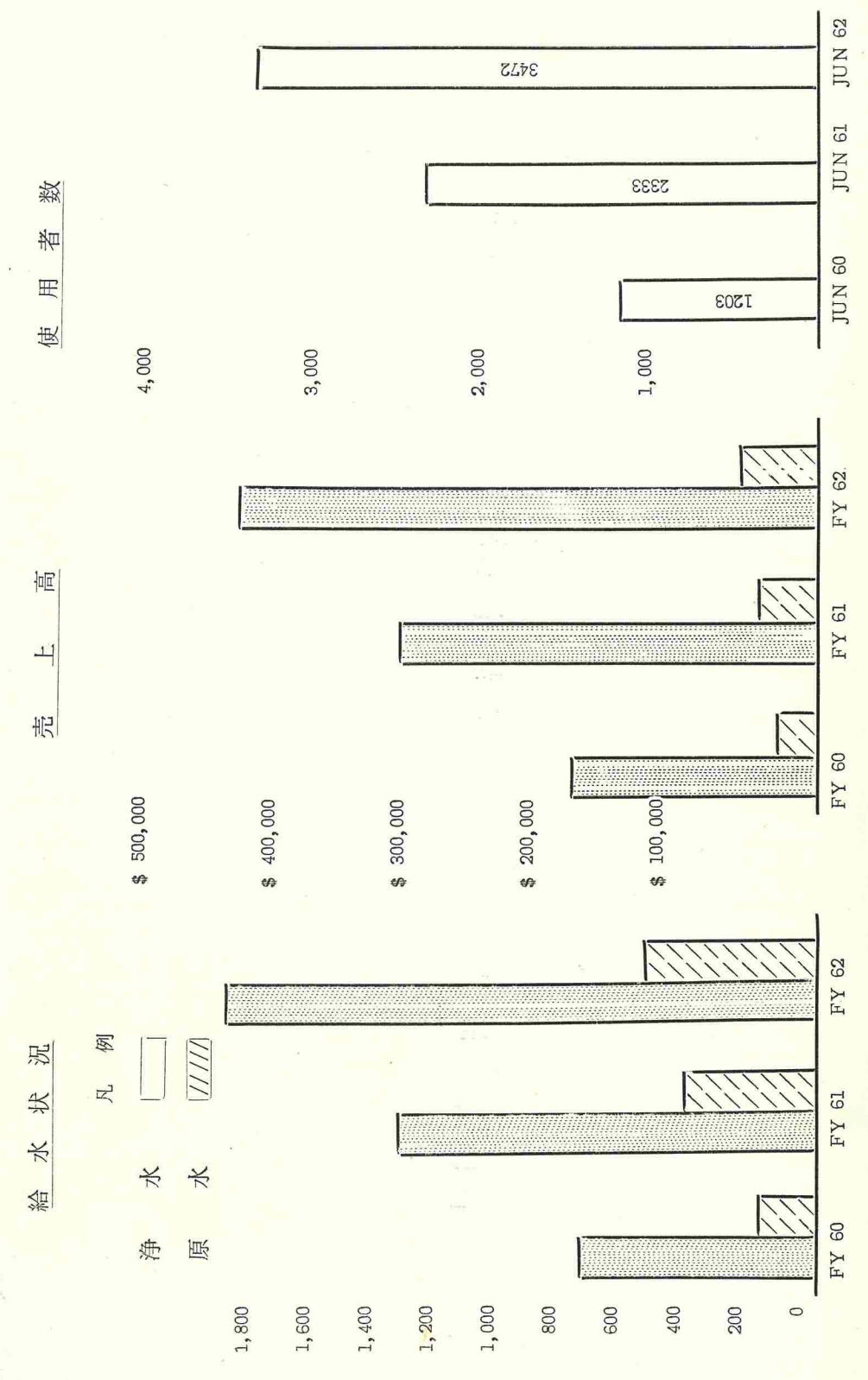
(62) 昭和97年度(2022年度)の決算状況

(63) 昭和98年度(2023年度)の決算状況

(64) 昭和99年度(2024年度)の決算状況

(65) 昭和100年度(2025年度)の決算状況

図表2
琉球水道公社売上概要



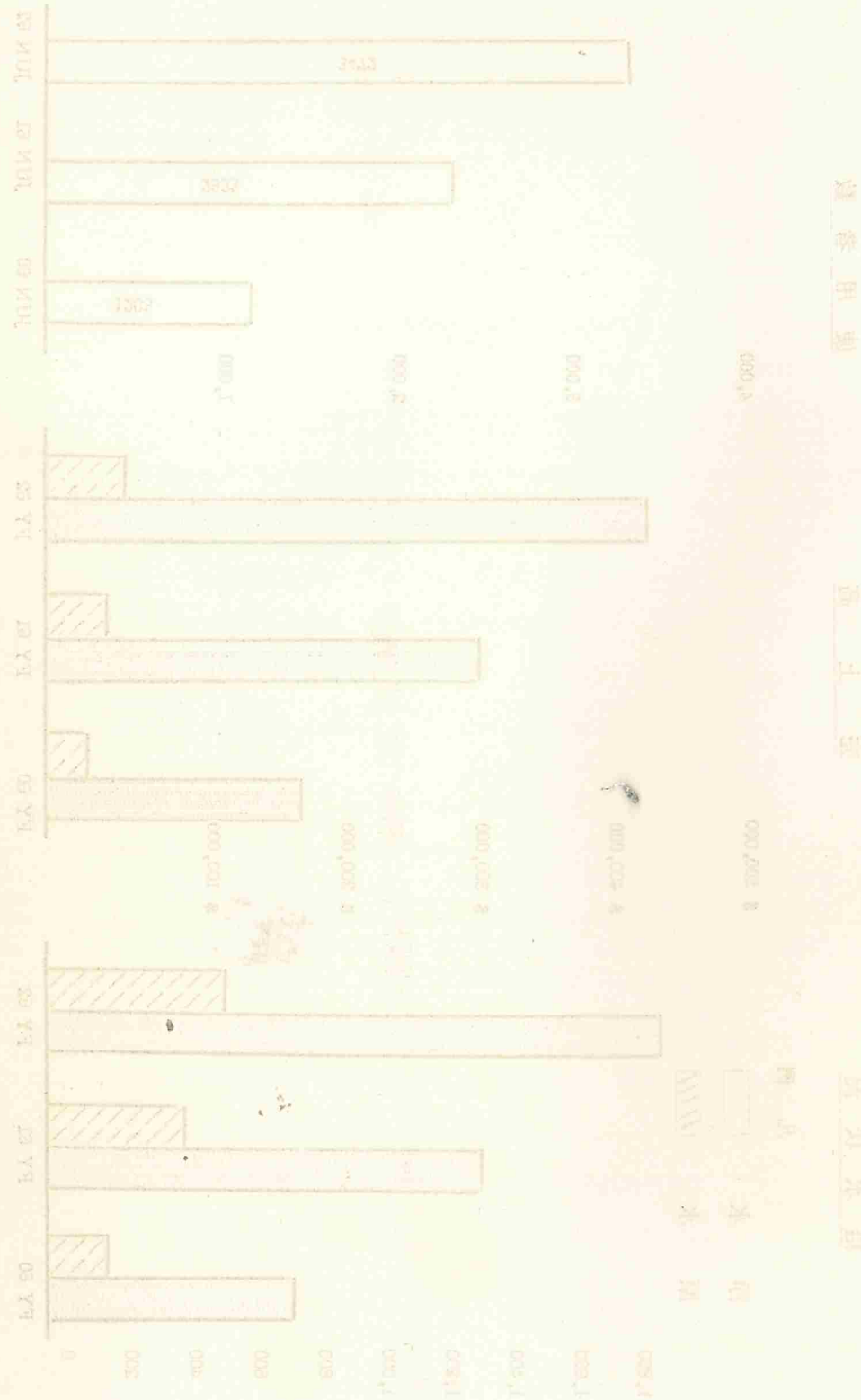
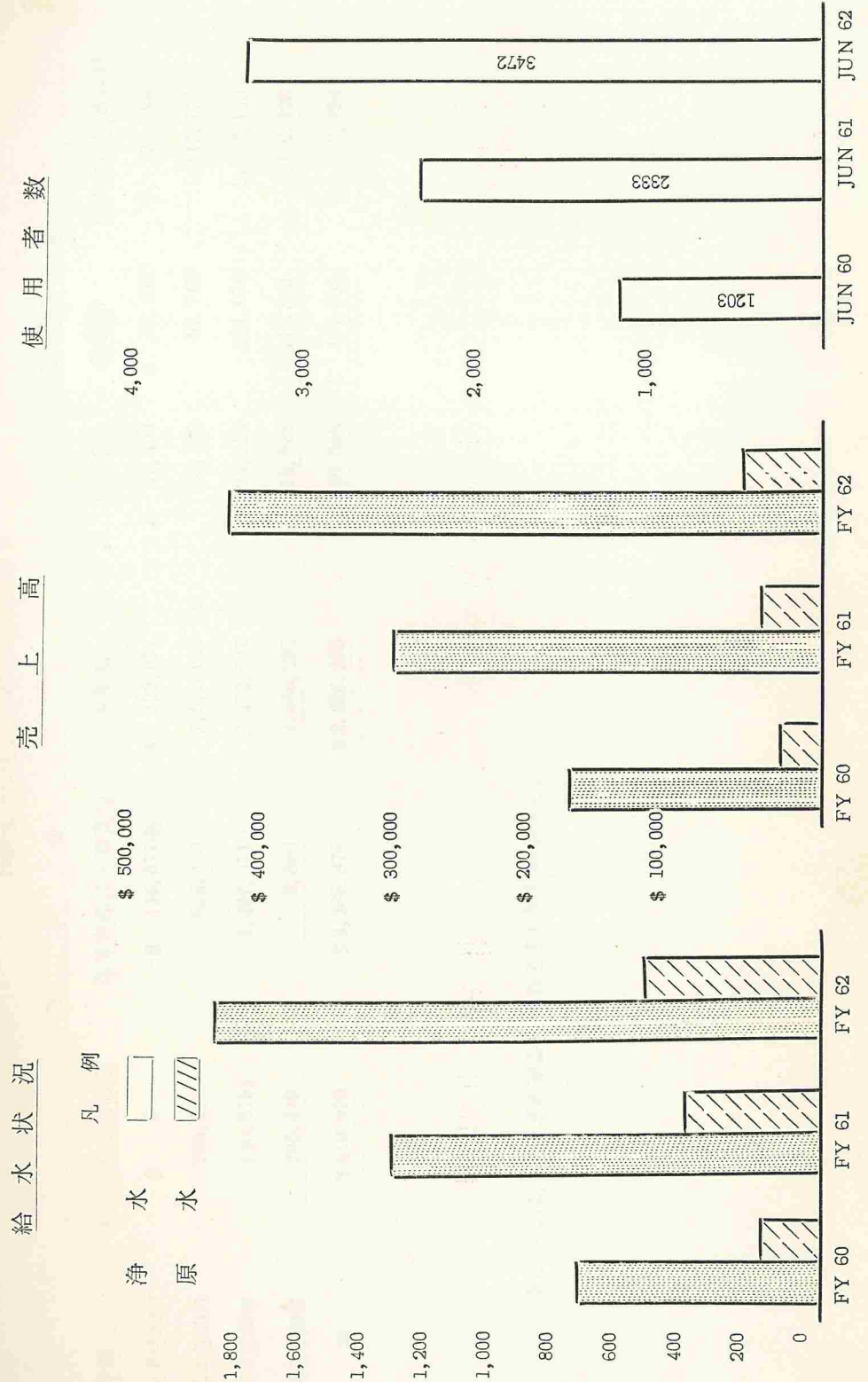


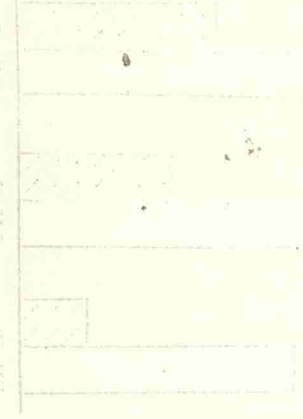
图 表 2
琉球水道公社売上概要

图 表 2
琉球水道公社売上概要



给水状况 売上高 使用者数

1959年6月30日



別表 2

琉球水道公社資本の増加

1959会計年度から1962会計年度まで

会計年度	資 本 金			剰 余 金		
	米国政府割当資金	高等弁務官一般資金	累積額	純益金	累積額	資本金勘定合計額
1959年6月30日	\$ -0-	\$ 138,577*	\$ 138,577	\$ 37,409	\$ 37,409	\$ 175,989
1960年6月30日	255,050	626,430	1,020,057	60,309	97,718	1,117,775
1961年6月30日	(40,579)	1,492,571	2,472,049	123,358	221,076	2,693,125
1962年6月30日	205,449	8,800	2,686,298	219,522	440,598	3,126,896
合 計	\$ 419,920	\$ 2,266,378	\$ 2,686,298	\$ 440,598	\$ 440,598	\$ 3,126,896

註 ※の中には、駐琉米陸軍からの資金\$1,577.00を含む。

1960及び1961会計年度年報

索引

(1958及び1959会計年度の年報はない)

主 題	頁	
	60年度年報	61年度年報
I 沿 革	3	6
II 機 構		
琉球水道公社定款	8	20
琉球水道公社機構図	10	14
琉球水道公社理事会	3	20
琉球水道公社と駐琉米陸軍との水道に関する契約	—	15
市町村浄水施設	5	9
III 運 営		
財 政	13, 14	1
工 事 計 画	5	4
水 の 単 価	5	8
市町村への給水	5	4
VI 図 表		
統合給水施設	11	XII
公社による水の受給者数の動向	12	3, 5
公社による水の売上げ	12	5
V 写 真		
比謝川ポンプ場	—	8
嘉 数 〃	—	—
コザ市の通水式	4	—
長田川ポンプ場	—	9
那覇市の牧港原水ポンプ場	—	12
天願浄水場	—	7
嘉手納浄水場	3	6
瑞慶山貯水池	5	10
瑞慶覧高架水槽	—	11
比謝川施設の開水栓	1	—
水源開発	2	—
瑞慶山貯水池放水路	6	—
嘉数、泊間原水管敷設	7	—